

お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテを利用することにご了解いただけない方は、以下の【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】

血管新生阻害薬の抗腫瘍効果に及ぼす尿蛋白発現有無の影響に関する後ろ向き研究

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院 薬剤部
松山大学薬学部

【研究責任者】 田中 守（薬剤部長 准教授）

【研究代表者】 中井 昌紀（薬剤部 室長）

【研究分担者】 愛媛大学医学部附属病院薬剤部
飛鷹範明（薬剤部 副薬剤部長）
済川聡美（薬剤部 室長）
坂本裕哉（薬剤部 室長）

松山大学薬学部
一色尚哉（松山大学薬学部）
秋山 伸二（松山大学薬学部 教授）

【研究の目的】

過去に当院を受診され、抗がん剤が使用された患者さんの診療録（カルテ）の情報を収集し、治療方法や併用薬、検査結果、有効性について評価する研究を行うことといたしました。この研究はベバシズマブ、ラムシルマブ、アフリベルセプトベータなどの血管新生阻害薬およびマルチキナーゼ阻害薬のレゴラフェニブ等使用時における尿蛋白の発現と治療効果との関連を明確にすることで尿蛋白発現時の適切な対処方法の検討を行うことを目的としたものであり、その結

果は今後の診療にも役立てられると考えています。

【研究の方法】

(対象となる患者さん) 2009年4月1日～2018年7月31日の間、愛媛大学医学部附属病院(当院)で、抗がん剤が使用された患者さんを対象に、初めて抗がん剤が使用されてから2021年7月31日までの期間のカルテ情報を収集します。

(利用するカルテ情報) 性別、年齢、現病歴、身長・体重(BMI)、転移有無、転移部位、原発巣占拠部位、併用薬、血液検査結果、尿検査結果、血圧、治療薬の用法用量等

【個人情報の取り扱い】

収集した試料・情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる情報を除いて匿名化いたします。個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

<情報の管理責任者> 愛媛大学医学部附属病院薬剤部 中井 昌紀

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

【お問い合わせ先】

愛媛大学医学部附属病院薬剤部 中井 昌紀

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5872